

**製品名: CCRL1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08166**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ICC/IF,ELISA                                    |
| 反応性    | ヒト、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量  | 40kDa  |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | CCRL1   |
| 別名           | CCRL1; CCBP2; CCR11; VSHK1; C-C chemokine receptor type 11; C-C CKR-11; CC-CKR-11; CCR-11; CC chemokine receptor-like 1; CCRL1; CCX CKR |
| 遺伝子 ID       | 51554.0   |
| SwissProt ID | Q9NPB9  |
| 免疫原          | 抗血清はヒト CCRL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 5-54  |

**背景**

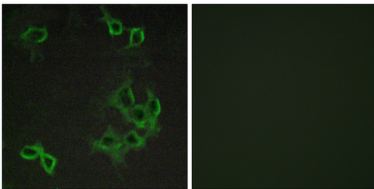
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体ファミリーのメンバーであり、C-C 型ケモカインの受容体

である。この受容体は、CCL19/ELC、CCL21/SLC、CCL25/TECKなどの樹状細胞およびT細胞活性化ケモカインに結合することが示されている。この遺伝子の擬似遺伝子は6番染色体上に存在する。同じタンパク質をコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq提供、2013年7月]機能：CCL2、CCL8、CCL13、CCL19、CCL21、およびCCL25の受容体。類似性：Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。組織特異性：主に心臓で発現する。肺、膵臓、脾臓、結腸、骨格筋、小腸では発現が低い。

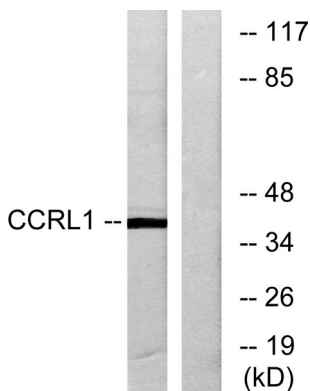
## 研究分野

-

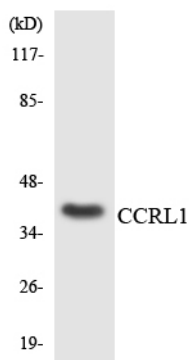
## 画像データ



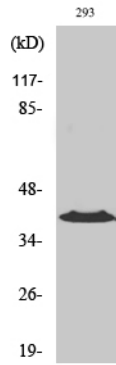
CCRL1抗体を用いたCOS7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CCRL1抗体を用いた293細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CCRL1抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 希釈の CCRL1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析